校報 まきがね

恵那西中学校だより 第１０号
令和２年１２月２５日（金）発行





完歩・感動・完食・感謝

～ 西中コロナチャレンジ 2020 W･W･A ～
Weston Walking with Aketetsu

校長 熊 﨑 健 一

12月9日（水）。日差しは暖かく風もない穏やかな天候のもと、ウォーキング・イベントを開催しました。恵那駅から学年ごとにクリスマス仕様の明知鉄道へと乗り込みました。車内では、和気あいあいと仲間との会話を楽しむ姿が見られました（ウキウキし過ぎたか若干声のボリュームが大きくなった場面も…）。3年生は岩村、2年生は極楽、1年生は飯羽間の各駅に到着。15Km 前後の道のりを学校に向けて歩き始めました。休憩と昼食以外はひたすら目的地を目指して歩くのみ！しかし、時間はたっぷりあります。仲間とたわいもない話に花を咲かせたり、車で通り過ぎる時には気付かなかった風景に出会ったりすることができました。ちょうど中間地点となる阿木川ダムに到着。“自称自作”のおにぎりをほお張り、湖面に煌めく陽の光を眺めながら、しばし体を休めました。ダムの堰堤を横断し、長い階段を一段一段慎重に下りていきます。さすがの中学生も、脚に疲労が溜るのを感じている様子。東野から正家へ、そして国道19号線に沿って槇ヶ根の峠へと徐々に歩を進めていきます（すれ違った3年生のお母さまと思われるお二人は、まだまだ余裕の表情で長島方面へ帰って行かれました）。東屋のある槇ヶ根交差点。いつもの登校時のように一休みしたいところですが、ここは一気に学校を目指します。

約4時間かけてついに学校到着。「疲れた～。」といいながらも、豚汁の用意されたテントへ向かう足取りは軽快そのもの。「若いっていいなあ…」としみじみ感じ入っていました。マイお椀にアツアツの豚汁を取り分けていただき、「おいしい～！」「あったまる～！」「最高～！」といって何杯もお替わりする生徒の姿を見ていると、「やってよかった。」という思いが脚の疲れとともに?込み上げてきました。

本来なら、文化センターの大ホールが響き渡る合唱の歌声と感動で溢れていたはずの日。形は違っても、WWA が生徒の楽しさや喜びとなったことは事実です。「コロナ禍でもできた！」「コロナ禍だからこそできた！」と胸張っていえる西中コロナチャレンジの足跡を、またひとつ刻むことができました。

また、今回の行事も多くの皆さんに支えていただきましたので、ここに紹介させていただきます。

本当にありがとうございました。お世話になったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

〔 Special Thanks 〕

- 豚汁作りにチームワークよく取り組んでくださった **PTA 家庭教育委員**の皆さん
- 豚汁を作る寸胴鍋などの機材を調達してくださった**学校運営協議会**の皆さん
- 交通安全を見守ってくださった**交通安全協会長島支部・長島町地域自治区運営協議会**の皆さん
- ウォーキング講習の講師をおつとめいただいた**ノルディックウォーク連盟の 堀 博 様**
- 記念の「ダムカード」をプレゼントしてくださった**阿木川ダム管理所**の皆さん
- 休憩場所として正家公民館をお貸しくださった**正家区**の皆さん
- 列車移動について親切に相談に乗ってくださった**明知鉄道**さん
- お子さんとともに長い道のりにチャレンジしてくださった**保護者**の皆さん
- 今回の行事を快くバックアップしてくださった **PTA 本部役員**の皆さん



間もなく年の瀬を迎え、また新しい一年が始まります。コロナ禍にあって例年のような年末年始を過ごすことは難しいでしょうが、どうかお家の皆様・地域の皆様も健康で心穏やかな新年をお迎えください。本年は、誠に有難うございました。職員一同、心より御礼申し上げます。